

令和5年度 第2回 北浜南小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年 6月5日（月） 13時から16時まで
- 2 開催場所 北浜南小学校 3階会議室
- 3 出席委員 森田 正幸、波多 信広、永瀧 利佳、島尾 智砂子、森高 麻衣
鈴木 正紘、永井 敦史
- 4 欠席委員 なし
- 5 学校支援コーディネーター 島尾 智砂子、森高 麻衣
- 6 学 校 鈴木 健（校長）、中谷 佳主枝（教頭）、白鳥 直樹（教務）
無州 潤（CS担当、2年主任）
岡崎 正裕（1年主任）、佐藤 彩香（3年主任）、平野 善江（4年主任）
川合 君菜（5年主任）、東条 美里（6年主任）
鈴木 利江子（CSディレクター）

7 教育委員会 堀田 洋一（教育総務課）

8 傍聴者 なし

9 協議事項

- （1）議長の選出について
- （2）ソフトボール投げ指導・町ぴかぴか活動について
- （3）授業参観を通して
- （4）各学年の地域との連携について

10 会議録作成者 CSディレクター 鈴木 利江子

11 会議記録

司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、会長から副会長を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（2）ソフトボール投げ指導・町ぴかぴか活動について

議長の指示により教頭から別紙資料に基づきソフトボール投げ指導について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 静岡県の5年生ソフトボール投げは常にワースト5に入っている。よく分からないがボール投げだけ低い。ボールを投げるといのは、いろいろな体のバランスをとる動作でありバランスがとれている子は投げられる。体を巧みに動かす能力が求められる種目。ボールを投げるのはトレーニングしないと記録が上がらないので指導して下さるのはとてもありがたい。
(鈴木校長)

- ・ 運動会の玉入れを見て何であんなに入らないのかということから始まった。高学年でやっても意味がないので低学年のうちにやるのがいい。ボールを投げるのは全身のタイミングの問題なので低学年の体と頭が未熟な時にしっかりたたきこまないと多分ずっと投げられないし苦手意識もついてしまう。これからもずっと続けていくといいと思う。(永瀧委員)
- ・ 技術的なことばかりではなく体をつかって運動するということも含めて成長できるように継続ということですすめていきたいと思う。(波多委員)

議長の指示により教頭から別紙資料に基づき町びかぴか活動について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 今年も班編制は通学班でやるのか。(鈴木委員)
- ・ 通学班でやるように考えている。(白鳥教務)
- ・ 草取りの道具の使い方、草の根っこからきっちり取る、そういうことを事前に教えておくことが必要なのではないか。(森田委員)
- ・ 地域の人と一緒にやっていたときは取り方とか教えていた。大人の人に教えてもらえるのは大事。(波多委員)
- ・ 今年は全学年で行うのか。(永瀧委員)
- ・ そこをどのようにしていくのかは検討中。地域の方が来られないと大人の目が少ないため昨年度は1、2年生を学校の草取り活動にした。(中谷教頭)
- ・ 学校としてどうしたいのかをCSで協議し、地域の方へお願いした方がいいのではないか。地域の方はまだとても慎重な対応。最低限ここまでやりたいという目的を学校側から示してほしい。そうじゃないと目的が変わってきてしまう。(波多委員)
- ・ 歴史のある活動。地域の方と一緒にやっていくことに意味がある。地域の協力は仰ぎたいと思っている。(鈴木校長)
- ・ 半日くらいならコロナの状態が今のままであれば大丈夫なのではないか。今年は地域の方と一緒にやれたらいいと思う。(永瀧委員)
- ・ 地域と一緒にやる方向で計画していく。(波多委員)

(3) 授業参観を通して

授業参観を終え、委員より以下の発言があった。

- ・ 初めて参観させてもらった。低学年は大人たちがみんなで見ているもおじけずに自分から発信する子供たちが多。高学年は身なりも態度もしっかりしていて感心した。ヘルメット等、私物の整理整頓がしっかりしている。(森高委員)
- ・ 初めて参観させてもらった。全学年通して授業が昔とは違い、ただ聞いてノートをとるだけでなく、参加しながら体を動かしながら手を動かしながら楽しく授業を受けていた。授業に参加できない子供の対応はどのようにしているのか。(永井委員)
- ・ 興味をもったこと、やりたいことは一生懸命やれる時もあるが、どうしてもできないこと、気分的にできない時は無理強いしてやらせることはしていない。自分がやりたいことを自分の口で伝える練習をしたり、教員たちと連携して声かけをしている。ダメなことはダメという指導はしている。臨機応変に対応している。(無州2年主任)

- ・ 低学年の指導とても大事。力でおさえてしまうと、自分のことをダメな人間だという劣等感で大きくなっていく。そうすると成長したときにまた別の障害がでてしまうということがおそらくあるのではないかと思う。子供のいいところを伸ばしてがんばらせ、丁寧に対応していくことで段々落ち着いてくるのではないかと思っている。
高学年の子で低学年の時、授業に参加できなかった子も今は教室に入ってしっかりやっている。自分のよさを認めてくれて自己肯定感が育ったおかげではないかと思う。
ただ今は不登校等、内にこもることが多いのが気になる。 (鈴木校長)
- ・ 読み聞かせのメンバーも授業に参加できない子をとてん気にかけている。先生方の見守るスタイルが理解できる。先生方、地域の方の見守り。そして親御さんがどの程度お子さんのことを理解しているのかが一番心配。先生方と親御さんとうまくコンタクトが取れればいいと思う。先生方がとても根気よく指導している。ほんとうに感心した。リコーダーができるようになりよかった。今の中学3年生はアルトリコーダーを何もやらずにここまで来た。それはとてもかわいそうなこと。 (永瀧委員)
- ・ 初めて参観させてもらった。普段の授業参観とはまた違ったありのままの実際の姿が見られてよかった。1. 2年生は体を動かす授業だと楽しそうにやっていた。学校にも授業にも慣れていってもらえたらいいと思う。高学年は教室が狭い感じがした。低学年の椅子をしまつて発言する姿は規律正しいと感じた。音楽の授業でマスクをして歌っていた。マスクを外して歌えるように早くなるといいと思う。 (鈴木委員)
- ・ 学校でのマスク着用の指導はどのようにしているか。 (波多委員)
- ・ マスクの着用は個人の自由判断にまかせている。 (鈴木校長)
- ・ コロナでみんなマスクをしていた時は、先生も危機がせまっている感じがして、子供たちも真面目にやらなければという感じがでていた。マスクをしていないだけで表情が見え楽しそうだった。子供らしく楽しくが大事だと感じた。このまますすく育つてほしい。 (島尾委員)
- ・ だいぶデジタルがなじんできた。2～3年前より自然に授業ができている。このまま続けていってほしい。 (波多委員)
- ・ 1年生はマスクを外している子が多いので表情が豊かだと感じた。一人一人の個性を今は尊重している。ちょっとしたことが暴言、暴力になってしまうので先生方はとても気を遣われている。子供には安全で楽しく過ごせる場の提供、なによりも学校にくるのが楽しいという場にしていってほしい。 (森田委員)

(4) 各学年の地域との連携について

◎ 1年生 生活科 昔の遊び

ここ数年できていない。なかなか自分たちだけでは教えることができないことを教えて下さるのでとてもいい機会だと考えている。コロナも落ち着いてきたのでぜひ今年こそは昔の遊びを地域の方をお呼びして1年生と一緒に遊ぶ機会がとれればいいと思っている。内容についてはまたつめていきたい。 (岡崎1年主任)

◎ 2年生 生活科 町たんけん 野菜の育て方

生活科の方で町たんけんを行う。6月16日に寺島地区をまわる予定。地域の歴史、特色

を教えて下さる方がいると子供たちの学習のはばが広がるのではと感じている。また野菜も育てているが上手な育て方、工夫した育て方をアドバイスして下さる方がいてくれると子供たちのためになるのではと考えている。 (無州2年主任)

◎ 3年生 総合 地域学習

地域学習ということで北浜南部協働センターを見学してサークルの方と交流したり、家事支援の会とも交流できるとありがたい。 (佐藤3年主任)

◎ 4年生 総合 ユニバーサルデザイン

長いこと学校にかかわっていただきほんとうにありがたい。地域と接触面が大きいからこそ安心して子供たちは過ごせるのではないかと思っている。総合の学習として福祉的なこと音の出る信号機はどこにあるか、北浜南部協働センター内のユニバーサルデザインとかも考えていけたらと思っている。 (平野4年主任)

◎ 5年生 総合 地域の防災

防災のことを勉強している。地域でどのような防災をやっているのかをしりたい。消防団や防災用品がこういう所にあるとか、地域で防災活動をされていることがあれば子供たちに直接教えていただける機会がもてればうれしい。 (川合5年主任)

◎ 6年生 総合 キャリア教育

浜松から世界へというテーマで子供たちが学習している。今は6月の体験の日にむけて家康について調べている。それをだんだん自分の方へもどしこれから先の将来をみつめなおすということていろいろな業種の方に仕事のことをお話ししていただけるといいと思っている。まだ子供たちにアンケートはとっていないので子供たちがどんな仕事に興味をもっているか分からない。いろいろな可能性を秘めている子たちなので、やはりいろいろな業種の方に話を聞いて自分の将来について考えるきっかけにしたいと思っている。保護者にも声かけするが地域の中でも話をしてくださる方がいると子供たちにとって参考になるし、充実した時間になるので力をかしていただきたい。 (東条6年主任)

- ・ できれば学校として求めていることが資料になっているとありがたい。みんなの目でわかるようなものがあれば意見交換しやすい。 (波多委員)
- ・ 昨年度、1年生の昔の遊びは計画まではいったが寸前でコロナが流行してできなくなった。6年生のキャリア教育は委員の方々に協力していただいた。 (中谷教頭)
- ・ キャリア教育で保護者の方は忙しい方が多いのでなかなか集まらない。子供たちがなりたい職業の方が来てくれることが一番いいのか。そのあたりの調整が難しい。こういう方を求めているということがある程度分かるとありがたい。直前だと厳しい。時間に余裕がある感じで分かると助かる。 (島尾委員)
- ・ 子供のニーズはとるがすべての人をあてられるかというのは無理なので地域の方で御協力いただける職業が、子供のニーズと必ず合致しなくてもいいと思っている。働くってなんだろう。キャリア教育とは職業選択の教育ではなくて、自分の価値を見つけることが一番の根本にある。働くとこんなにはすばらしいことがある。この仕事に就くにはこんな勉強を頑張ってきたとかいう話を体験できればいいと思う。 (鈴木校長)
- ・ アンケートはそうそうにとる。計画的には二学期になると思う。子供たちは視野が広くな

くそんなに職業自体を知らないの、自分が知らないような仕事の方の話を聞くというのもたいへん勉強になると思う。学校の先生だけではなく地域の方の話が聞ける場があるのは子供たちにとってはいい勉強になる。子供のニーズにあっていない職業だったとしても重なる部分はある。夢に向かってどう努力したのか、今できることはなにか、人と接すること等繋がる場所があると思うのでお願いしたい。 (東条6年主任)

- ・ これは学校コーディネーターへの依頼なのか。 (波多委員)
- ・ 昔の遊びもコーディネーターの仕事としてやってもらった。 (中谷教頭)
- ・ 他校との研修会で月に一度コーディネーター が学校へ赴いて先生の要望を募る活動をしている学校があった。そちらの方がその都度話が聞けるのではないかと思うがどのようにするのがよいか。 (島尾委員)
- ・ 都度来て下さればその時お話しして橋渡しをしていただけるとありがたい。 (中谷教頭)
- ・ ぜひそうしてほしい。全学年まんべんなくではなく、できるところからやっていく。必要ならもう少し詰めた内容のものが具体的にあがってくればいいと思う。どのくらいの頻度で学校に来ていただけるかもこれから具体的に決めていけばいいと思う。 (鈴木校長)
- ・ ほりさげていけば協力してくれる人はたくさんでてくると思う。委員に自治会の方がいるといいかもしれない。また必要なことがあれば学校運営協議会で協力するという体制で今後もすすめていく。 (波多委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和5年10月17日(火)13時30分から授業参観後、3階会議室で開催する旨の報告があった。